

2年次生 原野 恵利香

ランナー

神戸マラソンに参加し、本番になって会場の雰囲気や参加者のみなさんを見て緊張感により完走できるかなという不安が増しました。走っている途中も何回も心が折れかけましたが、沿道の人々の温かい声援に走り続けようと頑張ることができました。そして走り切ったときの達成感が忘れられない経験になりました。

1年次生 青城 友葉

通訳【英語】

通訳ボランティアでは、言葉が聞き取れず困惑することもありましたが、同じ通訳ボランティアの方々に助けていただき対応できたので嬉しかったです。慣れてくると楽しく、効率よく作業することができました。またボランティアに参加したいと思いました。

1年次生 里 奈津美

第8給水所⑦／21.1km 垂水下水処理場前

今回私は、初めて神戸マラソンのボランティアにリーダーとして参加しました。メンバーをまとめ指示を出すことに不安もあったが、積極的に動いてくれるメンバーのおかげでこのボランティアは成功したのだと感じました。ボランティアを通してランナーから元気をもらい、達成感と充実感を得ることができ、神戸マラソンに限らず、機会があれば他のボランティアにも参加したいと思いました。

1年次生 今瀧 ライカ

第9給水所④／24.3km 須磨浦公園前

私はボランティア初参加でしたが、リーダーを担当させてもらいました。もちろん不安もあり頼りないリーダーだったと思いますが、班員がサポートしてくれた分しっかりと貢献することができ、班員へは感謝しています。班のスローガンで何か一つでも自分ができることを見つけて行動するというものがあり、全員がそれぞれ指示を出さなくても何をすべきか考え役割分担を行い効率よく行動ができたのではないかと思います。私自身も活動を行う上で臨機応変に正しい指示を出す力を身につけることができたので良い経験となりました。

1年次生 股野 大樹

第8給水所⑧／21.1km 垂水下水処理場前

私は副リーダーとして参加しました。みんなで協力することを促すことができ、副リーダーとしての自覚を持つことによって、積極的に活動に参加することができました。又このような機会があればぜひとも参加したいと思える、貴重な体験でした。

1年次生 田中 勇樹

第9給水所⑤／24.3km 須磨浦公園前

私はリーダーとしてみんなをまとめましたが、感じたのは「実際は想定通りにいかない」ことでした。聞いていた話と違うこともあり班員を困らせてしまいましたが、自分で考え臨機応変に行動して指示できたのでリーダーとしての役割が果たせたと思います。ですが、まだまだ課題も見つかったのでこれからもボランティアを積極的にしていきたいです。

1年次生 三浦 孝文

第9給水所③／24.3km 須磨浦公園前

リーダー説明会などを通じて、ボランティアの大変さは映像上で理解していましたが、実際に給水活動を行うと想像以上に忙しく、ゼミ生含め役割分担をしつつ活動しました。神戸マラソンをボランティアという形で関わらせていただくことができ大変良い経験ができました。

1年次生 筒井 優

第9給水所③／24.3km 須磨浦公園前

私は副リーダーとして、出欠を取ったり、リーダーに頼まれたことしかやっていなく、あまり役割は果たせませんでした。しかし、メンバーが臨機応変に動いてくれたので、私もリーダーも助けてもらいました。みんなが一致団結して頑張れたのでとてもよかったです。

1年次生 松村 俊輝

第8給水所⑨／21.1km 垂水下水処理場前

給水ボランティアを終えて、私は人の温かみを最も強く感じました。

ボランティア開始前、1度も行ったことのない給水活動でのボランティアリーダーをすることになった時には、グループの仲間によく指示を出すことができるか、またランナーの方々の迷惑にならないような活動ができるか、などという不安でいっぱいでした。しかし、リーダーである以上、責任を持たなければならないと思い、ボランティア当日には、“感謝と友情”という今回の神戸マラソンのテーマの下、一人でも多くのランナーに感謝してもらえるような活動にしよう、そう心がけてボランティアに臨みました。

実際にボランティアが始まると、予想していた以上に給水所は忙しくなりました。用意していたコップに注いだ水はすぐに尽きてしまい、新しく入れなおす作業で全員に指示を出しながらの作業は正直かなりきつかったです。けれども、長距離を走って余裕ない状態のはずのランナーの方々に“ありがとう”とたくさん言ってもらえて元気をもらったり、グループの仲間が皆快く動いてくれ、こうしたほうが効率が上がるのではないか、などの助言も数多くしてくれた為、なんとか無事に給水活動を終えることができました。

人の温かみを直に感じ、ボランティア終了時には、疲労よりも達成感と充実感のほうが大きかったことは忘れられません。今回の活動から、私は人の助け合いの大切さを再認識し、これからの学生生活で、お互いに支えあっていけるような人間関係を数多く作っていきたいと感じ、それを目標にしたいと思えました。

1年次生 金藤 諒一郎

第9給水所⑤／24.3km 須磨浦公園前

私はF班の副リーダーとしてリーダーをサポートしました。活動を通してチームワークの大切さを改めて実感し、さらにボランティアの素晴らしさを学びました。神戸学院大学の代表として神戸マラソンに給水ボランティアとして参加し、とても充実した日でした。

1年次生 戸嶋 諒

第8給水所⑦／21.1km 垂水下水処理場前

神戸マラソンで給水ボランティアをし、応援の大切さを実感しました。給水はスピードが大事で、焦ってコップを倒してしまいましたが、そのときにランナーの方が「頑張れ」と言ってくれて、落ち着くことができました。

2年次生 藤森 庸次

フィニッシュブロック 計測チップはずし・完走メダル配布／フィニッシュ会場

ランナーに「お疲れ様です！」と声をかけると「ありがとう！」と返してくれる方が居て、とても嬉しかったです。積極的に声をかけるとその分相手も答えてくれるんだなと思いました。もし次ボランティアに行く事があれば、その時は相手を思いやれるようになりたいと思います。

2年次生 宮地 洋丞

フィニッシュブロック 計測チップはずし・完走メダル配布／フィニッシュ会場

私は神戸マラソンボランティアで、ランナーにメダルをかけてゼッケンの後ろについている機械を外す仕事でした。長時間の立ち仕事だったので、体力のない私は正直しんどかったです。でも走り切ったランナーの方にありがとうと言われ嬉しくなり、頑張る力をもらえました。

2年次生 高橋 孝輔

フィニッシュブロック 計測チップはずし・完走メダル配布／フィニッシュ会場

神戸マラソンのボランティアにメダル配布で初めて参加して、とてもたくさんのランナーがいたことに驚きました。ランナーの方々は疲れ切っているのにメダルをかけてあげると感謝の言葉をかけてくださった。お互いに気持ちよく大会を終えることができました。

2年次生 岩本 菜摘

フィニッシュブロック 計測チップはずし・完走メダル配布／フィニッシュ会場

神戸マラソンの構成を知り、人々の協力を感じることができました。メダルを渡したときのランナーの素敵な笑顔がたくさん見られたので私もとても幸せな気持ちになり、ありがとうという言葉がとても暖かく感じました。神戸マラソンは参加する全員で作り上げているということを実感しボランティアの楽しさを知ることができました。

1年次生 木原 愛香

第8給水所⑧／21.1km 垂下水処理場前

私は今までにもボランティア活動を経験してきましたが、神戸マラソンのボランティア活動には初めて参加させていただきました。リーダーということで、自分のグループをまとめることができるか正直不安で、大変な仕事もたくさんありましたが、グループのみんながしっかりと協力してくれたので、仕事もスムーズに終わることができ、とても助けられました。活動した場所はランナーの方々にとっては厳しい所だと聞いていたので、走ってきたランナーの方々をみんなで精一杯応援する光景は、とてもいいものでした。

今回の神戸マラソンのボランティア活動で学んだことは、ランナーにとっては応援してくれる人々の存在が不可欠であるということはもちろん、ボランティアにとってもランナーの感謝の気持ちが大きな励みになる、ということです。誰かが頑張っている姿を支える人々の存在は本当に大切である、ということを改めて感じました。

今回のボランティア活動で得たことはたくさんあるので、この経験を活かし、またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思っています。